



エコアクション21

環境経営レポート

2022.10~2023.9



KANAZAWA

本社：長野市大字中御所岡田町157番地1

発行日：2023. 11. 13

「信頼される」企業になる

「金澤工業に工事をしてもらえば安心だ」

お客様からのこの言葉は我々の原動力です。

創業80年を迎える中で培った技術は、快適な環境を創造する企業として地域社会から信頼を頂いております。

「なくてはならない当たり前のもの」我々の仕事は、「空調設備」「衛生設備」という生活に必要な設備工事を通じて、人と人のつながりを大切にまいりました。

快適なことは当たり前のことです。お客様のニーズは高度化・多様化しております。時代がどんなに変化してもこの当たり前を我々は追及し、お客様に「喜びと感動」を提供したい。

地球温暖化による自然災害、新型コロナウイルスの感染など様々な環境問題に向き合い、社会インフラの整備にも貢献しております。

環境・社会・経済の観点から、サステナビリティな社会を目指し、SDGsを実現させるために「いい仕事」「いい会社」にすることこそが社員一同の願いです。

また、時代に合った働き方改革を進め、女性社員が活躍できるステージを作るために取り組んでおります。

さらなる技術力の探求と向上をもってチャレンジしてまいります。

代表取締役 金澤 久仁彦

(弊社ホームページより)

社是

誠心誠技以盡業

(せいしんせいぎ もってなりわいにつくす)

KANAZAWA

まごころとプロの技を駆使し
設備工事業に尽くす

環境経営Vision



環境保全の重要性を認識し、環境への負荷を低減するために、環境との調和に配慮した取組を推進する

環境経営方針

当社は、機械設備工事の設計・施工に関わる事業活動を行っていることを踏まえ、あらゆる場面において環境保全の重要性を認識し、環境への負荷を低減するために、環境との調和に配慮した取組を推進する。

【 行動指針 】

1. 環境マネジメントシステムの継続的改善を推進し汚染の予防に努める。
2. 環境への影響を調査し、環境負荷を効果的に低減するため、技術的・経済的に可能な範囲で達成すべき環境目標を定める。
3. 環境目的及び環境目標を達成するために、プログラムを立案し、実施し、実績を評価して見直し、さらには次なる改善につなげるための環境マネジメントシステムを構築する。
4. 環境に関する法令、条例及びその他の協定事項を順守する。
5. 環境方針は全社員及び常駐する供給者に周知し、環境保全の意識を高め、正しい行動がとれる人材を育成する。
6. 次の項目について重点的に取組む
 - ①省エネルギー・省資源に努める。
 - ②廃棄物発生の抑制、削減、リサイクルに努める。
 - ③環境に配慮した提案、設計、施工に努める。
 - ④製品の性能維持・高寿命に繋がる提案及び点検に努める。
 - ⑤地域の環境美化活動に努める。

制定日 2006年1月16日

金澤工業株式会社 代表取締役 金澤 久仁彦

Contents

- ◆ご挨拶/社是/環境経営Vison ……2
- ◆環境経営方針/行動指針 ……3
- ◆1. 会社概要
2. 認証範囲 ……4
- ◆3. 実施体系—役割・責任— ……5
- ◆4. 長期ビジョンと中期環境方針 ……6
- ◆5. 環境経営目標(中期目標) ……7
- ◆6. 環境経営計画(71期) ……8
- ◆7. 71期環境経営目標の実績と評価 ……9
- ◆8. 環境経営計画の実施状況及び次年度取組内容 ……10
- ◆9. SDGs達成に向けた取組の進捗状況と次年度の取組計画 ……14
- ◆10. 教育・訓練の実施 ……15
- ◆11. 環境関連法規順守状況の確認及び評価の結果並びに違反・訴訟等の有無 ……16
- ◆12. 代表者による全体の評価と見直し・指示 ……17

1. 会社概要

企業名 金澤工業株式会社
本社 〒380-0936
長野県長野市大字中御所岡田町157番地1
代表者 代表取締役 金澤久仁彦
連絡先 Tel:026-226-5222
Fax:026-224-8080
Web <https://kanazawa-kk.co.jp/>
Eメール info@kanazawa-kk.co.jp

↓HPIはこちらから！



創 立 昭和21年 5月 1日
事業規模 資本金 6,000万円
売上高 28億円(令和4年度)
従業員数 77名(令和5年9月)

事業内容 機械設備工事

<許可を有するもの>

建設業 許可 国土交通大臣許可第3294号

【特定】 管工事業、土木工事業

【一般】 とび・土木工事業、石工事業、電気工事業、ほ装工事業、しゅんせつ工事業
水道施設工事業、消防施設工事業

<営業品目>

- | | | |
|-------------|-----------|--------------|
| ○冷暖房設備工事 | ○空気調和設備工事 | ○クリーンルーム設備工事 |
| ○給排水・給湯設備工事 | ○衛生設備工事 | ○厨房設備工事 |
| ○ガス配管工事 | ○消防施設工事 | ○水道施設工事 |
| ○電気設備工事 | ○浄化槽工事 | ○水洗便所設置工事 |
| ○ダクト工事 | ○管内更生工事 | ○福祉・環境関連機器 |

◆環境管理組織

環境管理責任者 部長 清水 俊彦
担当部署 品質・安全・環境推進部
連絡先 Tel:026-226-5222 Fax:026-224-8080

ABOUT KANAZAWA - 金澤工業株式会社について -



金澤工業株式会社は
「安心」と「快適」を提供する企業です。

私たちは昭和21年の創立以来、「空調設備」「衛生設備」等の生活に必要不可欠な設備工事を承ってきました。人と人のつながりを大切に建造物の設備工事を通して、みなさまに安全で快適な環境をご提供いたします。

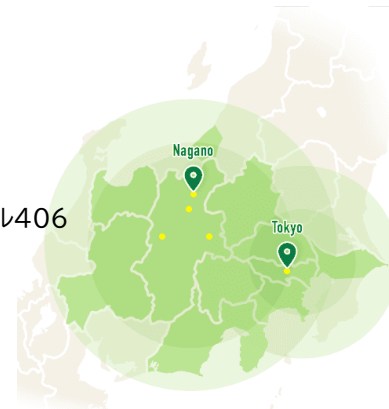


Nagano & Tokyo

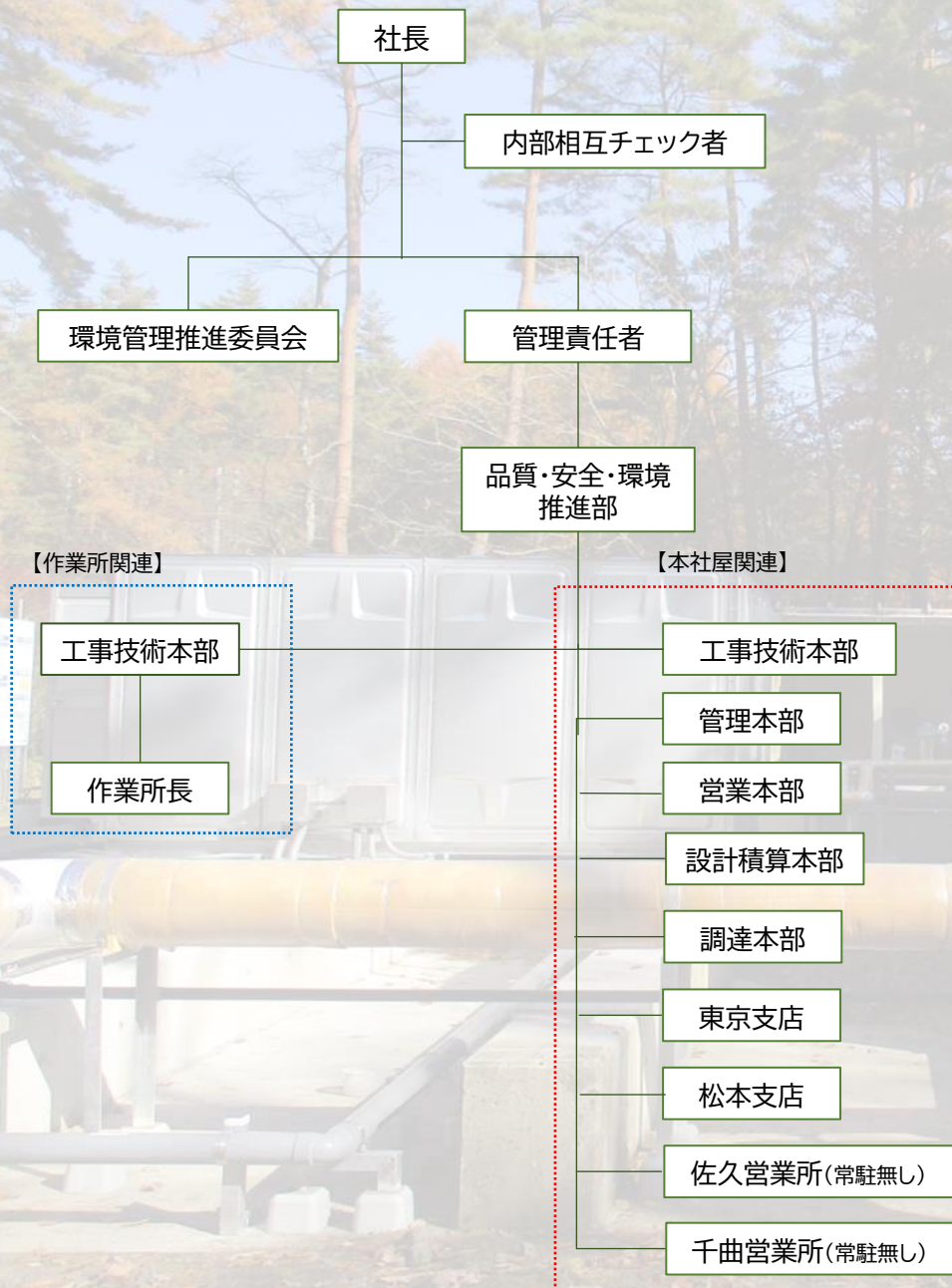
長野と東京の2都市5拠点を中心に近隣県のご依頼に対応しています。

2. 対象範囲(認証・登録範囲)

本 社:長野市大字中御所岡田町157-1
松 本 支 店:松本市大字島内1666-821
東 京 支 店:東京都千代田区麴町1-3ダイアン麴町ビル406
佐久営業所:佐久市猿久保891-1ナコービル201
千曲営業所:千曲市杭瀬下1-62 ことびビル
(東京支店は2024年対象とし全組織認証予定)



3. 実施体制



—役割・責任・権限—

担当	役割
社長	①EMSの評価・見直し・承認 ②環境方針の策定・全社員への周知 ③資源の確保(人材・資金・物品) ④管理責任者の任命
管理責任者	①EA21の審査責任者 ②負荷チェックの評価 ③環境マネジメントレビュー結果の報告・記録
環境管理推進委員会	①EA21における問題点の審議 ②環境マネジメントレビューのインプット情報
品質・安全・環境推進部	①EA21における文書の作成と各部署への周知 ②負荷チェックの取りまとめ ③環境法規制の遵守 ④教育訓練の実施 ⑤不適合の指摘と解決策の周知 ⑥EA21の事務局(社内の窓口兼外部からの苦情受付)
【工事部門】 工事技術本部長	①作業所の環境目標・環境計画の承認と管理 ②緊急事態後及び同業者の事故後の手順の妥当性の見直し ③顧客協定書の管理 ④関連法規制及びその他要求事項の入手、伝達
作業所長	①常駐協力業者に対する環境教育・緊急事態訓練の実施 ②緊急事態の緩和措置・連絡・報告 ③法令の遵守
【オフィス部門】 品質・安全・環境推進部、 工事技術本部、営業本 部、設計積算本部、管理 本部、松本支店、東京支 店、佐久営業所、千曲営 業所、防火管理者	①負荷チェックシートへの記録 ②活動の実行 ③本社屋の火災予防訓練の実施 ④緊急事態時における安否確認訓練の実施 ⑤外部からの環境に関する意見の受付 ⑥法令の遵守 ⑦当社指定の産業廃棄物の管理
内部相互チェック者	①内部相互チェックの実施と報告 ②不適合の指摘

4. 長期ビジョンと中期環境方針

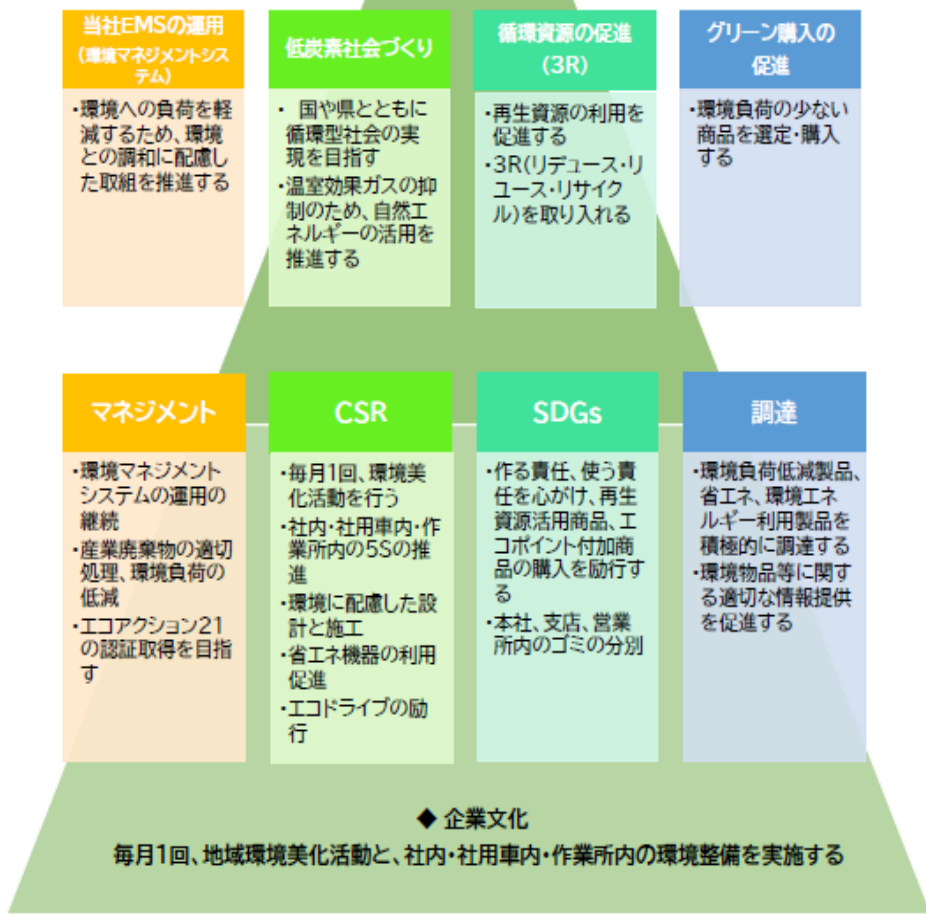


6つの第一主義(長期ビジョン)



◆ 中期方針 ('21.10~'24.9)
 環境保全、環境整備を通して、職場で働く人同士の心を通わせ、仕事のやり方・考え方に気付く習慣を身に付ける。

令和5年度(第71期)方針



用語 3R:リデュース(減らす→省資源化)、リユース(再利用)、リサイクル(再循環→ごみの分別回収)
 エコアクション21:環境省が策定した日本独自の環境マネジメントシステム(EMS)のこと。

5. 環境経営目標(中期目標)

中期環境目標は右の通りです。

※化学物質使用量は、削減が業務上難しいことから管理・保管について安全パトロールで確認し、まずは使用状況を知ることを目標とする。

※環境を考慮した施工については、ISO9001のプロセスに沿い、施工改善会議で評価する。

※環境を考慮した設計については、期末のマネジメントレビュー、社長ヒアリングで評価する。

※電力事業者排出計数 0.449Kg-CO2/kwh (2021年 中部電力ミライズCO2実排出係数)

項目	単位	基準値		3年間の目標			
		71期 (2022.10~2023.9)	72期 (2023.10~2024.9)	73期 (2024.10~2025.9)	74期 (2025.10~2026.9)		
【1】二酸化酸素排出量の削減		kg-CO2	148,598	147,112 1%削減	145,626 2%削減	144,140 3%削減	
 7	電気使用量の削減	本社	kwh	73,077	72,346 1%削減	71,615 2%削減	70,885 3%削減
 12	ガソリン消費量の削減	本社	L	47,607	47,131 1%削減	46,655 2%削減	46,179 3%削減
 13	灯油使用量の削減	本社	L	36	36 1%削減	35 2%削減	35 3%削減
	ガス使用量の削減	本社	m³	518	513 1%削減	508 2%削減	502 3%削減
【2】廃棄物排出量の削減及び産業廃棄物リサイクル率の向上							
 12	一般廃棄物排出量	全範囲	kg	2,365	2,341 1%削減	2,318 2%削減	2,294 3%削減
	産業廃棄物リサイクル率	作業所	%	60	61 1%向上	62 2%向上	63 3%向上
 13	産業廃棄物リサイクル率(特管)	作業所	%	0.5	1% 1%向上	2% 2%向上	3% 3%向上
【3】総排水量削減							
 6	水使用量	本社	m³	427	423 1%削減	418 2%削減	414 3%削減
 11	【4】化学物質使用量削減	作業所	確実な管理・保管及び使用状況を知る				
 12	5.環境を考慮した施工	作業所	確実な施工管理				
 12	6.環境を考慮した設計	本社	省エネ製品・システムの提案				
	7.環境美化活動	本社	月1回本社周辺の清掃を行う				
 17	8.ながのエコサークル	本社	ゴールドランクの維持				

7.71期

環境経営目標の実績と評価

※化学物質使用量は、削減が業務上難しいことから管理・保管についてを目標とし安全パトロール写真報告書にて評価しました。

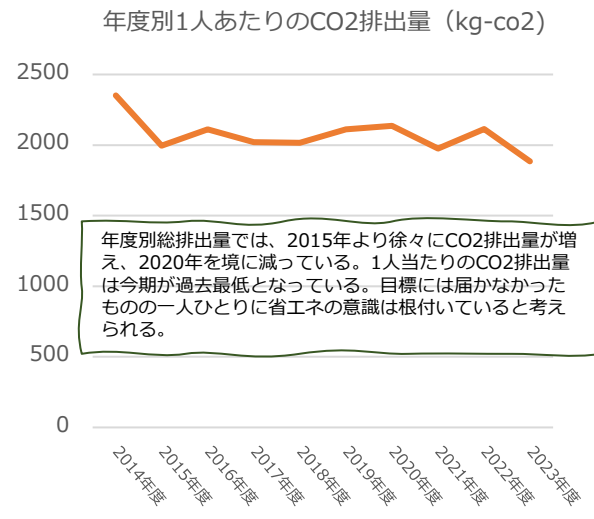
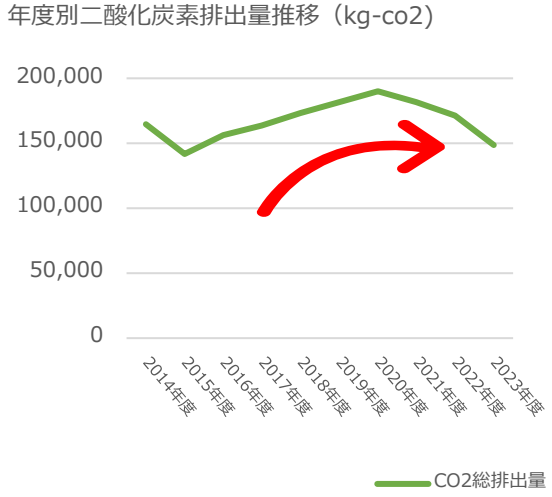
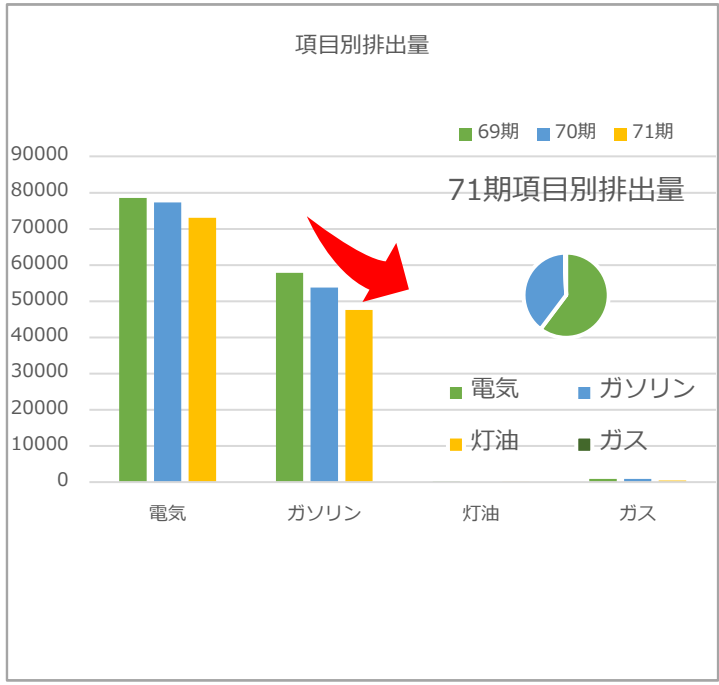
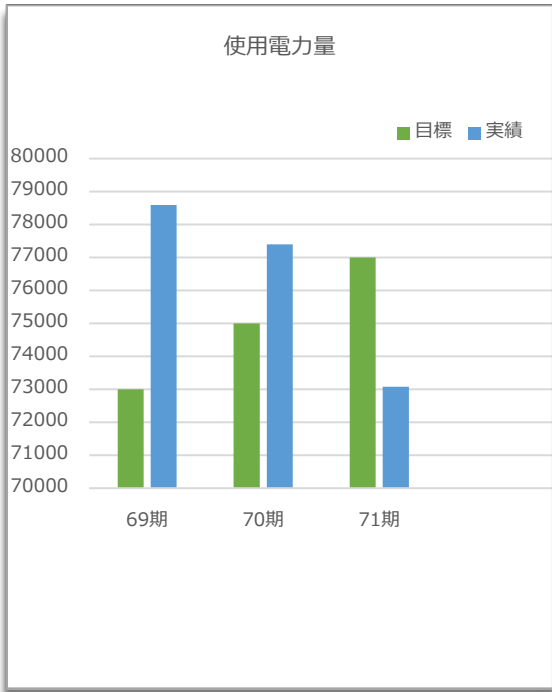
※環境を考慮した施工については、ISO9001のプロセスに沿い、施工改善会議で評価しました。

※環境を考慮した設計については、期末のマネジメントレビュー、社長ヒアリングで評価しました。

項目	単位	71期(2022.10.1~2023.9.30)					
		基準値 69期	目標	実績	達成率	評価	
【1】二酸化酸素排出量の削減		kg-CO2	181,817	178,181 2%削減	148,598	120%	目標達成!
 電気使用量の削減	本社	kwh	78,578	77,006 2%削減	73,077	105%	目標達成!
 ガソリン消費量の削減	本社	L	57,826	56,669 2%削減	47,608	119%	目標達成!
 灯油使用量の削減	本社	L	178	174 2%削減	36	485%	目標達成!
	本社	m³	898	880 2%削減	518	170%	目標達成!
【2】廃棄物排出量の削減							
 一般廃棄物排出量	本社	kg	1,097	1,075 2%削減	888	121%	目標達成!
 産業廃棄物排出量リサイクル率	作業所	%	75	77% 2%向上	60%	78%	目標未達...
	作業所	%	0	2% 2%向上	1%	25%	目標未達...
【3】総排水量削減							
 水使用量	本社	m³	434	425 2%削減	427	100%	目標達成!
 【4】化学物質使用量削減	作業所	確実な管理・保管を行う					
 5.環境を考慮した施工	作業所	確実な施工管理					
 6.環境を考慮した設計	本社	省エネ製品・システムの提案					
 7.環境美化活動	本社	月1回本社周辺の清掃を行う					
 8.ながのエコサークル	本社	ゴールドランクの維持					

8. 環境経営計画の実施状況及び次年度取組内容

【1】 二酸化炭素排出量の削減



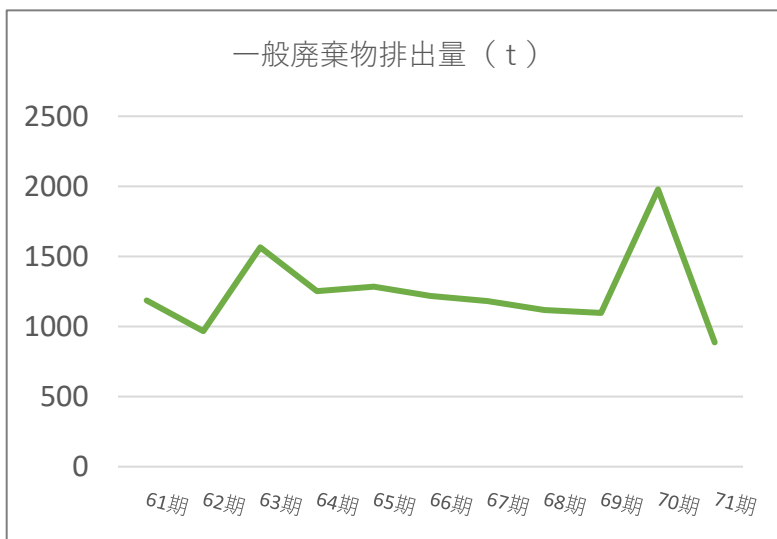
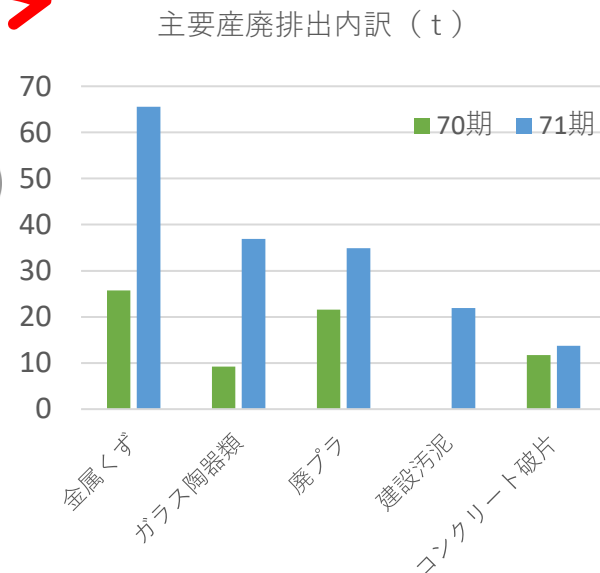
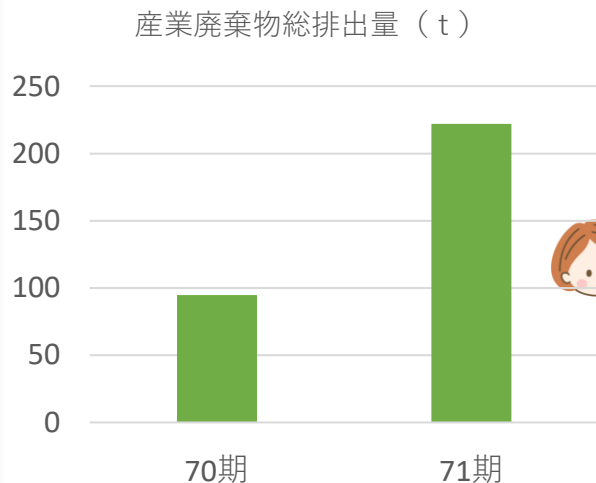
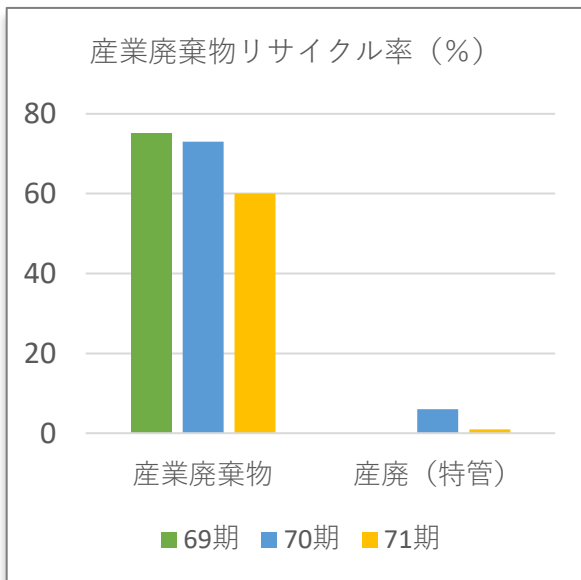
- 2022年の使用電力量は73,077kw、前年比4323kw減（5.6%）昨年より月平均使用電力量が400kw下がっていた。こまめな節電の呼びかけは確実に効果を発揮していると言える。今後も継続して節電を呼びかけていきたい。
- ガソリン使用量は今年47,607ℓ、前年比6,217ℓ減（11%減）だった。ガソリン使用量は3年連続で順調に減っていることがわかる。現場へ行く際の乗り合いでの社有車の利用、遠距離現場での宿舎利用などの取組がガソリン使用量の削減に繋がっていると思われる。
- 灯油、ガスについては主に社内更衣室やパントリー使用分のみである。項目別排出量を見てもほぼ当社のエネルギー排出量は電気、ガソリンに限られていることがわかる。

年度別総排出量では、2015年より徐々にCO2排出量が増え、2020年を境に減っている。1人当たりのCO2排出量は今年が過去最低となっている。目標には届かなかったものの一人ひとりに省エネの意識は根付いていると考えられる。

来期の取組
来期も今期同様日常管理による基準値の維持とし、二酸化炭素排出量の削減に努める。



【2】 廃棄物排出量の削減



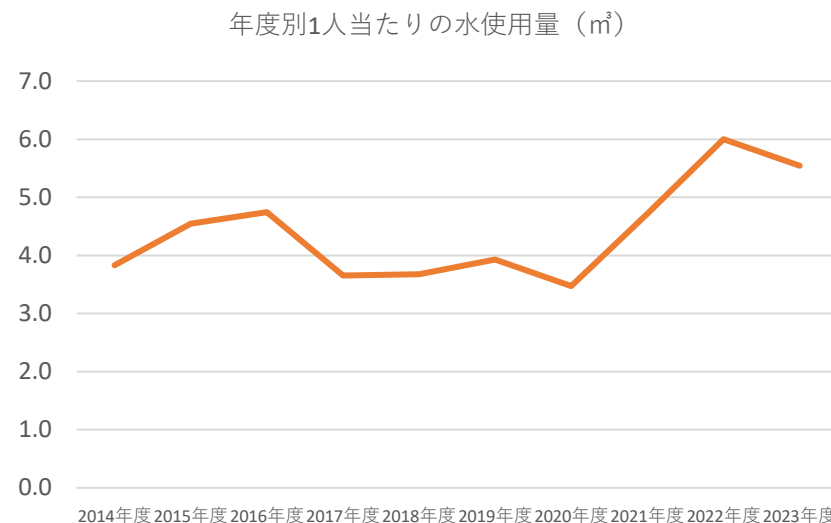
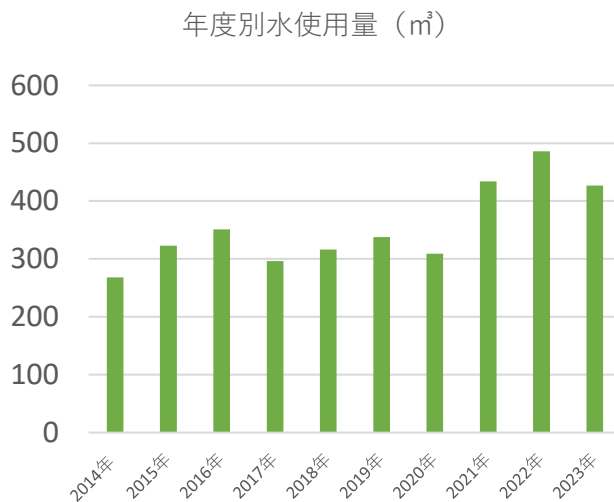
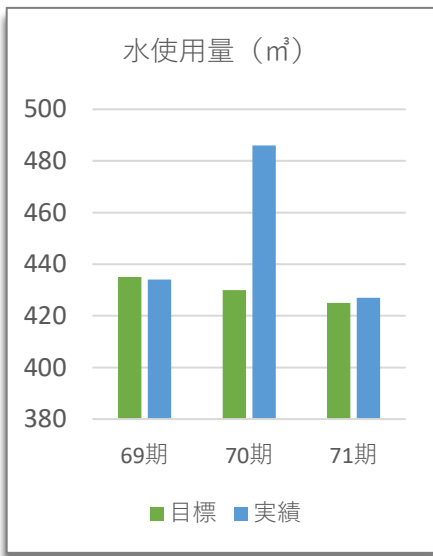
- 71期目標は産業廃棄物リサイクル率77%、特管産業廃棄物リサイクル率2%だった。結果としては、産業廃棄物リサイクル率60%、特管産業廃棄物リサイクル率1%となり目標達成にいたらなかった。
- 産業廃棄物総排出量は70期の倍以上となった。マニフェスト内訳としては今期は金属くず、ガラス陶器類が多く、金属くずはリサイクルできたものの、ガラス陶器類は非リサイクルであることからリサイクル率の低下につながったと考えられる。
- 改修工事等の増加により産業廃棄物を廃棄物を減らすことは容易ではないが、今後も無駄のない設計、調達、施工により産廃の排出量低下、リサイクル率の向上を目指したい。
- 一般産業廃棄物排出量についてはかなりの減少が見られるが、前期から各階でのゴミ出しへ切り替えたことから計量方法を変更したことによる影響も考えられる。今期も引き続き計量を行い経過を観察していく。

来期の取組

来期もマニフェストにて作業所ごとに排出量を算出する。一般産廃については、ペーパーレス化を促進する。



【3】 総排出量削減



■水使用量は70期より12%減少となり日常管理の中で目標は達成することが出来た。

■2021年度より水使用量が増加傾向にあり、それに伴い1人当たりの水使用量も増加している。女子トイレ増設があったため、今後は2021年を基準年とし目標、計画を立てることとする。

来期の取組

来期も日常管理での節水に努め、目標達成を目指す。



【4】 化学物質使用量削減



■有機溶剤に関しては、少量ではあるが確実な管理・保管によるロスの軽減を心がけた。

■管理・保管状況の確認は社内安全パトロールにて行い、管理状態の是正が必要であった作業所は是正処置を報告書にて提出、確認した。

来期の取組

有機溶剤使用状況の実績を調査し、使用量削減に努める。




5・6 環境を考慮した施工・設計

■環境を考慮した施工・設計を達成するため、以下を実施した。

- ・適正な時期に施工図を作成しスリーブを正確に取り付ける。→ 施工改善会議にて確認 ○
- ・工事で発生した廃棄物の分別を確実にを行う。→ マニフェストにて確認、代理人会議で産廃担当者のマニフェスト講座の実施 ○
- ・工事加工品による配管工事の推進。→ 施工改善会議・マネジメントレビュー・社長ヒアリングにて確認 ○
- ・作業所での産業廃棄物の発生を抑える。→ 施工改善会議にて確認 ○

来期の取組

来期は確実な施工管理による手戻り工事0を目指す 

7 環境美化活動



本社周辺の清掃を月1回各フロアで行っています。植栽の中もしっかり見てゴミがあれば拾います。


駐車場内のゴミ拾い中。春から夏にかけては草取りも行います。



- 環境美化活動は月に一度本社の周りのゴミ拾いを実施。72期からは松本支店でも清掃活動を始めることとなった。また、健康経営計画の一環として社内レクリエーションで登山を計画し、山のゴミ拾い運動を行った。
- ながのエコサークルはゴールドを継続。

来期も自然豊かな信州を次の世代に残せるよう、信州の企業として出来ることを考え実行していく。

来期の取組

地域貢献として清掃活動は継続、ながのエコサークルゴールド維持のため、長野市環境条例の遵守。 

8 ながのエコサークル



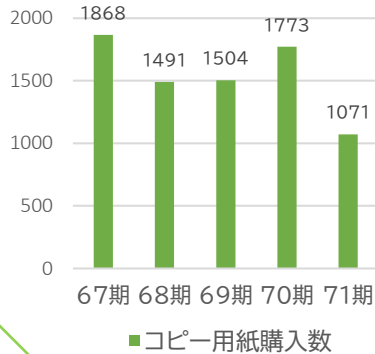
社内のヘルスツーリズムとして登山を計画し、登山中のゴミ拾い運動を行いました。



9. SDGs達成に向けた取組の進捗状況と次年度の取組計画



1. コピー用紙カートナーの使用量の削減



71期コピー用紙購入量 **1,071kg**

前年(70期)比 **60%**

前年度より40%減。コピー用紙削減は目標を達成しました。

71期カートナー購入量 **13本**

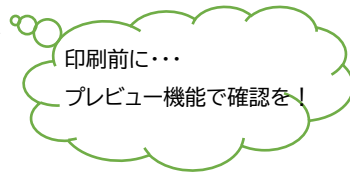
前年(70期)比 **92%**

前年度より8%削減。カートナー購入量は目標を達成しました。

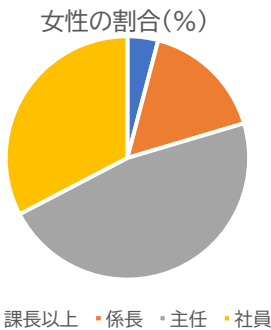
次年度の取組

現場へのタブレット支給検討など、DX化とそれに伴う紙資源使用量削減に向けて他社事例等を研究しています。

DX化の促進によるコピー用紙購入量の削減に加えて、引き続き社内での裏紙の利用、印刷前のプレビュー機能での確認を徹底していきます。



2. 女性の管理職率の引き上げ



71期 管理職に占める女性労働者の割合 **4%**

(管理職=課長以上)

女性課長 1名

女性係長 1名

女性主任 6名

女性管理職は1名という結果でした。全社員中女性社員は32%、役職における女性社員の割合は係長は16%、主任は46%でした。今期は、係長より課長へ昇進1名、主任より係長へ昇進1名、主任昇進は3名ありました。

次年度の取組

72期も引き続き女性活躍行動推進計画に基づいて採用した労働者に占める女性労働者の割合、男女の平均継続勤務年数の差異、平均残業時間、管理職に占める女性の割合の推移の経過を見ていきます。

特に、男女の平均勤続年数の差異が大きいことは当社の課題であると認識し、働き方改革と並行してライフステージが変わってもずっと働ける環境作りに取り組みます。



3. 社員の資格取得率の引き上げ

【71期資格取得者】

- ・2級管工事施工管理技士 1名
- ・2級管工事施工管理技士 2名
- ・給水装置工事主任技術者 2名
- ・下水道排水設備工事責任技術者 1名

【71期社外講習会受講者】

- ・高所作業車特別教育 1名
- ・有機溶剤作業主任者技能講習 9名
- ・酸素欠乏・硫化水素危険作業主任者技能講習 4名
- ・石綿作業主任者技能講習 7名
- ・玉掛け技能講習 1名
- ・高所作業車運転技能講習 1名
- ・小型車両系建設機運転業務機特別教育 1名

【71期社内特別教育受講者】

- ・フルハーネス特別教育 7名
- ・熱中症予防労働衛生教育 6名

次年度の取組

技能講習、特別教育の外部講習会の案内を毎月発行、インストラクターによる社内研修は随時開催します。スキルマップを作成し、必要な資格を可視化しました。施工管理技士試験の受験資格緩和の周知、入社3年以下の社員には資格取得を斡旋していきます。

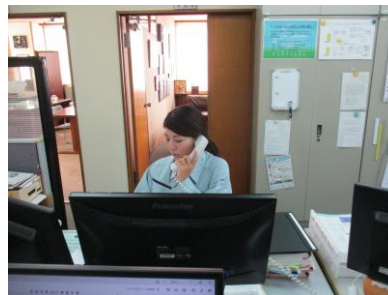


環境上の緊急事態の対応に関する試行及び訓練結果

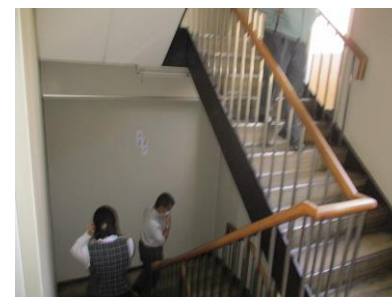
■環境の側面から見た緊急事態訓練として令和5年10月5日（木）本社の火災訓練を行いました。

令和5年 消防訓練実施報告書

時間	放送内容および実施手順
	<ul style="list-style-type: none"> ・自衛消防隊長と防火管理者（総指揮者）は、3階に待機する。 ・指揮係は、社内放送と火点の準備。
9:00	①3階総務部において、防火管理者が自衛消防隊長へ、総指揮宣言と訓練開始を報告する。 ②こちら自衛消防隊指揮係です。 只今より、令和5年度 自衛消防訓練を開始いたします。
9:03	①防火管理者が、3Fパントリーで出火を現示する。 <火災感知器の発報と警報ベルの鳴動> ② ・こちら自衛消防隊指揮係です。 只今、3Fパントリーより火災発生！ ・消火係は、3Fへ集合し、消火活動せよ！（消火器持参） ・館内にいる者は、避難誘導係の指示に従い、本社裏駐車場へ避難してください。 ※防火管理者は、3Fにて総指揮を行う。 ※通報連絡係は、3Fより消防署へ電話する。 <周囲の者は、消防署へ電話する様子（内容）をよく見ておくこと。>
	◆避難に当たっての注意 <ol style="list-style-type: none"> ①火の始末<ガスの元栓締める> ②サンダル・ツツカケでは避難しない。 ③ハンカチを口に覆い、ニヤニヤしない。
	◆警報ベルを停める
9:10	※各階避難誘導係は、本社裏駐車場で避難誘導係責任者へ各階の状況を報告する。 ※避難誘導係責任者は、自衛消防隊長（社長）へ「全員避難完了」を報告する。
9:15	・自衛消防隊指揮係 消火訓練の告知 消火係責任者より、消火器の取り扱いについて説明 消火訓練者（① ② ③ ）（当日出席者より選出）
9:25	・自衛消防隊長（社長）より講評を述べていただく



①通報連絡係 通報状況



②社員避難状況



③避難完了 報告状況



④消火訓練者 訓練状況

11. 環境関連法規等遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

【当社が適用する主な環境関連法規】

管理責任者が遵法確認を行った結果、過去5年間に法規制に抵触するもの、苦情を受けた事例及び訴訟はございません。

法令・条例	要求事項に対する活動内容	実施部署	順守状況
廃棄物処理法	一般廃棄物及び産業廃棄物の適正管理及び処理	各部署・作業所	○
建設リサイクル法	設計及び工事に関わる資材選定や施工の工夫による環境負荷の低減	設計積算本部・調達本部・工事技術本部・作業所	○
フロン排出抑制法	廃フロンガス類の適正処置	作業所	○
	業務用エアコンの簡易点検	総務部	○
家電リサイクル法	廃家電類の適正処置	総務部・作業所	○
騒音規制法	地域による騒音基準値以下の作業	作業所	○
振動規制法	地域による振動基準値以下の作業	作業所	○
自動車リサイクル法	使用済み自動車の適正処置	総務部	○
シックハウス対策法	建設材料の選定及び換気設備の適合	作業所・設計積算本部・調達本部	○
石綿障害予防規制法	石綿除去における適正作業及び処置	工事技術本部・作業所	○
浄化槽法	施工施設の事前届出及び廃止届出	作業所	○
消防法	防火管理者による火災予防の訓練及び管理工事中の防災管理	総務部・作業所	○
長野市環境基本条例	環境負荷の低減、その他環境の保全及び創造に努めるとともに、市の環境施策への協力	全部署	○
長野市地球温暖化対策条例	公共交通機関・自転車利用の推奨、及びアイドリングストップの推奨	全部署	○

12. 代表者による全体の評価と見直し・指示

環境経営方針においての変更はありません。気候変動による災害や農作物への影響は大きくなっており、我々の日常生活にも影響が出ています。また、新型コロナウイルス感染症発生以降、感染症対策もしっかりと取り組まなければならない課題となりました。ウクライナ戦争以降のエネルギー高騰はいまだ続いており、CO2排出量の削減は今や一人ひとりが家庭の中においても、企業の中でも取り組んでいく必要があります。社内や作業所でのLED化の推奨、社有車乗り合いでの現場移動の推進、DX化推進を通してCO2排出量削減を進めます。

71期の環境経営目標の達成状況及び環境活動計画については、二酸化炭素排出量の削減がすべての項目で達成されました。全体のCO2排出量は昨年より5.6%減となり月の平均使用電力量が400kw も下がる結果となりました。ガソリンも昨年より11%減という結果となり良好であったと判断します。また、水使用量についても目標を達成することができました。残念ながら、産業廃棄物リサイクル率は目標達成となりませんでした。これらは、今期の改修工事の多さに比例すると考えますが、施工改善会議にて検証し、今後の学びにいたします。全体として、二酸化炭素排出量の削減目標の達成が出来たことで、今期は概ね良好な結果であったと評価いたします。

環境経営計画の実施体制及び運用についての変更はありません。今後も全社員で環境保全に取り組めるようシステムを運用していきます。

71期は不安定な世界情勢の中、資材価格の高騰やコロナ後の動き出した世の中に対応すべく社員一丸となって業務に邁進してきました。72期は、いよいよ働き方改革が始まります。働き方改革への取組はCO2排出量削減にも繋がり、社員の健康にも通じていると考え、環境を整備してまいります。当社の社員に工事を頼みたいとお客様から思っていただけで、72期も『誠心誠技』進んでいきたいと思えます。

2023年 9月 30日

代表取締役 金澤 久仁彦